

作成年月日: 2010年 10月 2日
改訂年月日: 2017年 4月 2日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 ダイヤモンドペースト WITH (油性ペースト)
整理番号 317
会社名 株式会社 大和製砥所
住所 〒639-0245 奈良県香芝市畑5丁目1613
担当部門 品質保証部
電話番号 (0745) 77-2955
緊急電話番号 -
FAX番号 (0745) 78-0667
E-mail yamato@yamatoseite.co.jp



推奨用途及び使用上の制限

主に金属、非金属の研磨に手とぎとして使用する。(不水溶性研削剤)

2. 危険有害性の要約

本商品は、工業用ダイヤモンドと石油系の炭化水素を混合させたもので、商品を構成する成分のうち化学物質としての危険有害性情報をGHS分類にて記載。

GHS分類

【炭素(ダイヤモンド)】

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分2(肺・吸入)

※記載のないものは、区分外、分類対象外又は分類できない。

GHSラベル表示

シンボル なし

絵表示 なし

危険有害性情報

長期又は反復暴露吸入による肺の障害の恐れ

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意(SDS)を読み、理解するまで取り扱わないこと。
熱、火花、高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙
換気の良い場所でのみ使用し、ミスト等の吸入を避けること。又飲み込まないこと。
取り扱い後は手洗いを行なうこと。

【救急処置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。
その際は強く擦らないこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は、
外して洗うこと。
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

【保管】

直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物製品

物質の特定

工業用ダイヤモンドと石油系の炭化水素との混合物

成分及び含有量(wt%)

名称	CAS番号	化学式又は構造式	重量割合(wt%)	労働安全衛生法政令番号又は化審法官報公示整理番号
研削剤部				
工業用ダイヤモンド	7782-40-3	C	2 ~ 20	対象外
潤滑油基油	企業秘密なので記載できません		60 ~ 80	企業秘密なので記載できません
増ちょう剤(Ca 石鹼)	企業秘密なので記載できません		5 ~ 10	企業秘密なので記載できません
潤滑油添加剤	企業秘密なので記載できません		3 ~ 5	企業秘密なので記載できません
容器				
ポリプロピレン(外筒、押子)	—	—		
ブタジエンゴム(ガasket)	—	—		

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じ医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

むやみに擦らず、作業終了後石鹼水等で洗い流す。必要ならば医師の手当てを受ける。

目に入った場合

粉塵が目に入ったら、直ちに清浄な流水で洗眼をする。この時強く押さえたり、擦ったりしないこと。必要ならば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、医師の診断、手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は水で十分洗う。

最も重要な徴候症状に関する簡潔な情報

飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。
目に入ると炎症を起こす可能性がある。
皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。

5. 火災時の措置

消火剤

初期の火災には粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。

注意事項

棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用のこと。

特定の危険有害性

燃焼の際は、一酸化炭素等が生成される可能性がある。

消火時の保護具

消火作業の際は、必ず保護具を着用し風上から行うこと。又、消火作業を行う者は、空気呼吸器等の保護具を着用し、酸素欠乏及び有毒ガスから身を守ること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

目に入った場合は、清浄な水で数分間注意深く洗眼する。

保護具及び緊急時の処置

収集する場合は、保護具(保護めがね、防塵マスク等)を着用し、取り扱った後は手をよく洗うこと。

環境に対する注意事項

下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。

除去方法

土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱いの注意

技術的対策

火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。
皮膚に触れたり、目に入る可能性のある場合は保護具を着用する。

局所排気・全体

排気
室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる。

安全取扱い注意事項

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

保管の注意・条件

直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管する。
ゴミ、水分などの混入防止の為、使用後は密栓して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

局所集塵装置、局所排気装置、洗眼器、水道栓等

管理濃度・許容濃度

物質名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度(ACGIH)
炭素 (C)	設定されていない	—	—
鉱物油	設定されていない	2006年度版	5mg/m ³

保護具

適切な衛生対策

国家検定に合格した防塵マスク及び保護めがねを必ず着用すること。
うがい用及び洗眼用の水洗の設置が望ましい。
長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

半固体

色

淡褐色(粒度により違いあり)

臭い

わずかに臭う場合がある。

融点(°C)・凝固点(°C)

3727°C (炭素) 滴点102°C (潤滑油基油)

沸点・初留点及び沸騰範囲(°C)

4830°C (炭素)

引火点(°C)

500°C~600°C(参考値:炭素) 200°C~410°C(参考値:潤滑油基油)

比重(相対密度)

3.5g・cm⁻³ (参考値:炭素)

溶解度

水に不溶

ちょう度

280 (潤滑油基油)

10. 安全性及び反応性

安定性

常温で暗所に保管された場合安定である。

反応性

強酸化剤との接触を避ける。

混触危険物質

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

危険有害な分解生成物

燃焼の際には煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

11. 有害性情報

急性毒性

(吸入:粉塵、ミスト)

【潤滑油】
ラット LD₅₀ 5000mg/L以上

皮膚腐食性・刺激性

【潤滑油】
ウサギによる複数の皮膚刺激試験に於いて、皮膚刺激性に区分する結果は得られていない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

【潤滑油】
ウサギによる複数の眼刺激試験に於いて、眼刺激性に区分する結果は得られていない。

生殖細胞変異原性

【潤滑油】
AMES試験に於いてMutagenicityIndex(MI)値が0.0との報告がある。
広範囲な変異原性試験(in vivo及び in vitro)が実施されているが、大部分の結果から

変異原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性なしと判断する。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

データ不足のため分類できない。

水生環境慢性有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄に於いては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び
包装

『ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず』に分類され、廃棄物として処理する。
知見なし

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 非該当

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 非危険物

国内規制

陸上規制情報

海上規制情報

航空規制情報

規制なし

非危険物

非危険物

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け容器の破損、腐食、漏れ無きよう積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。重量物を上積みしないこと。

15. 適用法令

【労働安全衛生法】

法57条の2(名称等を通知すべき有害物)

政令第18条の2別表第9の189

【鉱油】 70-80 質量%

【水質汚濁防止法】

油分排出規制

【潤滑油基油】

【下水道法】

鉱油類排出規制

【潤滑油基油】

【廃棄物処理法】

油分排出規制

【潤滑油基油】

16. その他の情報

記載内容の内、含有量、物理化学性質等の数値は保証値ではありません。

危険有害性の評価は現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しております。

全ての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

尚各純物質のGHS分類及び有害性情報は <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/index.html> の作成日現在のデータを参照致しました。